

春期講習

新年度の最高のスタートダッシュのために

1. 春期講習とは？（夏・冬との違い）

📌 スタートダッシュ

新年度の良いスタートダッシュをきることが最大の目的です。

特に中3生は11月までの3回の定期試験で内申が決まります。

私立一般以外のすべてで内申を使うため、この春の準備が極めて重要です。

📌 予習と計画

復習メインの夏・冬と違って「予習」を進めます。

共通カリキュラムはなく自由度が高いからこそ、生徒ごとの**事前の綿密な計画**が必須となります。

※中学生については、5月後半～6月にある最初の定期試験の予習を完了できるようにしましょう。

2. 前提の共有（講習2コマ＝通常3コマ）

75

1コマの授業時間（分）

進捗感覚と管理の徹底

授業時間が通常の50分から75分へと拡大します。そのため、「講習2コマ＝通常3コマ分」を前提とした計画が必要です。

⚠️ 見切り発率は厳禁！

「進みすぎ（生徒の理解不足）」と「進まなさすぎ（事前の計画不足）」を確実に避けましょう。

3. 75分を充実させるために



時間活用

集中力を維持させるため、ずっと演習するだけにならないよう**アクティビティ**を取り入れ、メリハリのある75分間にしましょう。



動機付け

「なぜ今これをするのか？」
「いつの何に役立つのか？」
など、生徒に**新学年の具体的な未来・ビジョン**を見せましょう。



個別対応

低学年には「楽しさ」を。
中学生には「別解」や「応用類題」など、**長い講習ならではの+**を提供しましょう。

4. 進捗の「言語化」と報告

♥️ 遅れへの対応

授業が計画通りにいっていない場合、すぐに再検討する必要があります。悩んだら抱え込まず、すぐに相談してください。

♥️ カルテの充実

カルテの「授業理解度欄」を詳細に充実させましょう。

♥️ こまめなチェック

担当生徒のカルテは、自分が授業に入っていない日でも、ちょくちょくチェックして状況を把握しましょう。

改めて**3C**の徹底を

5. ルールのおさらいと注意

🕒 勤務時間の変更

講習期間中は、勤務時間のルールが以下になります。

「前20分・後10分」

授業前の準備と、授業後の片付け・記録をスムーズに行えるよう、時間を意識した行動をお願いします。

🗨️ FFB（フィードバック）

講習期間中、原則として**通常のFB**はなしとなります。

しかし、その分講師間や室長との

「**自主的な相談・共有**」

を積極的にするようにしてください。